



29第156号  
平成29年8月17日

長野市中心市街地活性化基本計画  
評価専門委員会  
委員長 竜野 泰一 様

長野市長 加藤 久雄



「もんぜんぷら座の在り方」の検討について（諮問）

このことについて、長野市執行機関の附属機関の設置等に関する  
条例に基づき、貴会の意見を求めます。

## 諮問の趣旨

「もんぜんぷら座」は、ダイエー長野店が撤退した民間商業施設を取得し、「市民活動と交流の機会と場を提供」をコンセプトに、平成15年のオープン以来、まちなかで不足していた公共公益施設の整備を中心に、順次活用フロアを広げ、「TOMATO食品館」の利用者も含めると、現在、年間70万人以上の方々にご利用いただいております。

一方で、「もんぜんぷら座」は、昭和51年に建築され、築後40年以上を経て、建物全体の老朽化が著しく、さらに建物の耐震診断結果から、「長野市耐震改修促進計画」において、平成32年度末までに耐震化を図るものとされております。

また、現在の建物は、ダイエー長野店の店舗として建築されたものであり、通常のオフィスビルとは異なる形態や設備等を有したものであります。

これらのことから、これまでも計画的に維持修繕を実施してまいりましたが、仮に、補強による長寿命化を図るとした場合でも、各種設備を中心に大掛かりな改修工事を伴うとともに、利用者やテナント入居者に多大な影響を及ぼすことが懸念されております。

については、将来の人口減少社会に対応した公共施設等の総合的かつ計画的な管理と同時に、中心市街地の活性化や、周辺住民の生活確保等についても配慮しながら、様々な選択肢を含め、「もんぜんぷら座」の在り方について意見を求めるものであります。

